

第4回国際 CIO 学会連合会総会の出席報告

副会長兼顧問 小尾敏夫

●第4回国際 CIO 学会連合会総会が6月28-30日にタイ・バンコクのインペリアル・クウィーンズ・パークホテルで、“経済危機及び地球環境、革新的 CIO”をテーマに開催された。主催はタイ CIO 学会、後援は APEC 電子政府研究センター、国連大学高等研究所、ビジネス・ソフトウェア企業協会（BSA）、タイ政府情報通信省、NECTEC（国家エレクトロニクス／コンピュータ開発庁）などで、15の国と地域、5つの国際機関から約120人が参加した。総会の詳細な議事録がタイの事務局から送られてきたので紹介したい（添付1）。

●今回の世界総会は、私が国際 CIO 学会連合会会長に正式に就任した。今後3年間、会長として世界の CIO の育成と普及発展、国際協調に力を注ぐことになる。

今回の会議では、喫緊課題である世界金融経済危機に対応すべき政府プログラムをはじめ次世代電子政府・自治体、ICTのアプリケーション、グリーン ICT と ICT 危機管理 (BCP) 管理、オープン・スタンダード、IPR、ナレッジマネジメント、イノベーションのグローバルアジェンダ、経済危機における PPP の協力など幅広いテーマが討議された。

●2日間の会議の成果は添付2の「バンコク・ステートメント」として発表され、現地の報道機関によってプレス発表された。主たる成果（一部紹介）は次の通りである。

1. 産官学ならびに国際機関、その他関係個所の連携協力の支援、改善によって世界的な経済危機を克服するツールとして電子政府の早急な発展を図る
2. 学会が中心となり CIO コア・コンピタンスの世界標準モデルの発展と普及に努める
3. 世界で起きた問題・課題にフォーカスした CIO の役割に関する研究の継続を図る
4. 環境保護に貢献すべきグリーン ICT の発展を助長する
5. 世界金融危機の中で、教育的コストの削減に貢献するための遠隔教育による ICT の有効活用と利点を探究する
6. PPP を通して官民連携を強化する。
7. 継続的なイノベーション実現のための IPR の保護を徹底する。

●会議による更なる具体的成果は、行政 CIO の役割と人材育成にかかわる将来展望について各国学会会長を中心に徹底的に討議できたこと、グローバルグリーン ICT 実現のためのネットワークを構築し、グローバル社会の中で分析と評価できる枠組みを構築できたこと、そのための APEC, ASEAN, ITU, OECD などの国際機関の協力を仰ぐことができたこと、経済危機をはじめとする喫緊課題に対処すべき必要不可欠なコンピタンスや、CIO 人材育成プログラムについて検討できたこと、さらに今後起こりうる高齢化社会に向けた CIO の重要性について討議できたこと、遠隔教育の拡大について同意が得られたこと、国際 CIO 人材センターの設立への賛同が得られたこと、などが挙げられる。

●今回の主なスピーカーは次の通り；Ms.Jantima 大会組織委員長（タイ財務省局長）、Pansak 博士（タイ NECTEC 所長）、J.P.Auffret 博士（世界学会副会長、米ジョージメ

イスン大学教授)、Finger 博士(世界学会副会長、スイス EPFL 大学教授)、Mr.Mukhejee (インド CIO 学会 会長) Yang 教授(中国、北京大学学部長)、Magno 教授(フィリピン CIO 学会会長、ラサール大学教授)、Tien 博士(ベトナム共産党 ICT 運営委員会副議長)、Suhono 博士(インドネシア CIO 学会会長、バンドン工科大学教授、情報通信大臣顧問)、Sung 博士(台湾行政院副大臣)、Janowski 博士(国連大学高等研究所所長)、Rojanaunan タイ防災科学中央研究所所長、Jiyang 中国行政院電子政府研修センター長、Slavan(ロシア C I O 協会会長)等約 50 人。日本からは神岡一橋大学教授、佐藤情報通信ネットワーク産業協会部長、鹿野島国交省主任研究官がプレゼンし、他に 12 人の参加があった。

●次回の第 5 回世界総会は来年 5 月 4 - 5 日にインドネシアのバンドンにて開催される。関心のあるかたはご連絡ください。